

COVID-19 抗体療法「チキサゲビマブ/シルガビマブ (AZD7442)」の 一刻も早い承認を！

つばさは厚生労働省（大臣、健康政策局々長、医薬品・生活衛生品局々長宛て）に抗体薬 AZD7442 の早期承認のお願いを 2 月 25 日付けで提出しました。

さきに「1 月 20 日発表の「血液疾患患者さんの一部に、ワクチンを接種しても抗体の獲得が困難な患者さんがいることが判明」（藤田医科大学と関連の施設の共同研究グループ）についてお知らせしました。AZD7442 は、このワクチン接種をしても抗体ができにくい（あるいはできない）患者さん対象の抗体薬です。欧米では既に臨床で使われています。

この AZD7442 が使われる対象は血液がんでも一部の患者さんですが、1 つの薬がもたらされることは全ての患者さんとその家族、友人、全市民にとって希望です。

この早期承認の希望が叶うように、皆様も声を上げていただくように心から願います。以下、早期承認要望書の要旨です。

血液がん患者の長期治療と免疫

略・・・繰り返し訴えますが、血液がんを治そうと治療に耐えた（あるいは今も頑張っている）患者さんにとって、感染症対策は闘病の基本であり、風邪もインフルエンザも禁忌なのです。そこに、2020 年 1 月、新型コロナウイルス感染症が流行しました。ただ、血液がんの領域では患者さんたちにワクチン接種も優先でおこなわれてきたことは理解し、安堵しておりました。しかしそこにもたらされたのが、「血液がんの中にはワクチン接種の効果がない疾患がある」という報せでした。どうか、この事実が当事者にもたらした不安感をご想像ください。・・・略

チキサゲビマブ/シルガビマブ (AZD7442)」を知って

そこに「欧米の数か国で既に対策となる抗体療法が、血液がんの患者さんを含む免疫状態が悪い患者さんに使われている」という情報が届きました。既にその薬があるなら、日本の患者さんにも可能な限り早く届けてください。ぜひ、「そこに治療法があるのに届かない患者さんがいてはいけない」との想いを共有していただけますようお願いいたします。日本の当該患者さんのために、チキサゲビマブ/シルガビマブの一刻も早い使用の実現を切望します。 2022 年 2 月 25 日